



向陽校区まちづくりプラン (地域振興計画)

2025年度～2029年度
令和7年5月発行

〒890-0038
鹿児島市向陽1丁目14-1
TEL 099(296)1545 FAX 099(296)1546
E-mail koyo-machi@navy.plala.or.jp

向陽校区まちづくり協議会



第2期(令和7年度～令和11年度)

向陽校区まちづくりプラン

〈スローガン〉

伝統を受け継ぎ
みんなでつくるまち ふるさと向陽

向陽校区まちづくり協議会

目次

□ まちづくり協議会をご存知ですか …… 1

I 「第1期まちづくりプラン」の振り返り …… 2

- 1 第1期の成果と課題 …… 2
- 2 各部会事業等の反省・評価 …… 2
- 3 第1期の活動の記録 …… 6

II 「第2期まちづくりプラン」 …… 8

- 1 計画の期間 …… 8
- 2 向陽校区まちづくりの目標 …… 8
 - (1) まちづくりのスローガン
 - (2) 運営方針
- 3 まちづくり協議会組織 …… 8

III 向陽校区まちづくりプラン(振興計画) …… 9

IV 資料 …… 13

- 1 校区のすがた …… 13
 - (1) 校区の歴史・概要
 - (2) 校区の人口の推移
- 2 向陽校区地図 …… 15
- 3 第2期まちづくりプラン策定委員 …… 15
- 4 アンケート調査結果 …… 16

I まちづくり協議会をご存知ですか

こんにちは。向陽校区まちづくり協議会です。

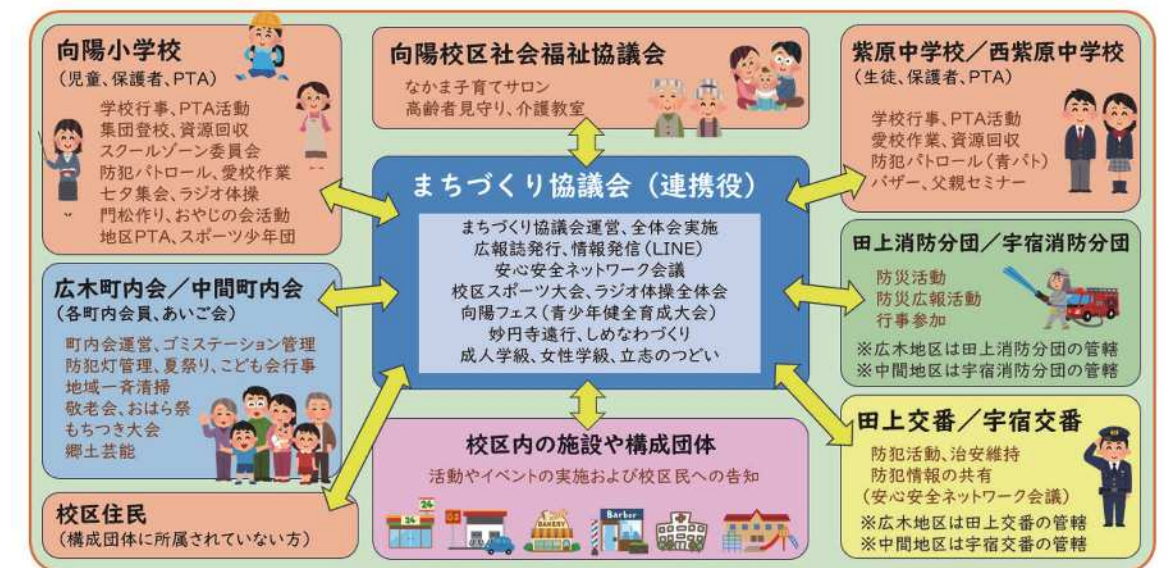
みなさんは、まちづくり協議会ってご存じですか。まちづくり協議会(以後、まち協)は、平成23年3月に「共に助け合い、みんなでつくる活力ある地域コミュニティ」の実現を目指し、小学校校区ごとに作られている地域コミュニティの組織です。簡単に言うと、地域に存在するたくさんの組織や団体、個人の繋がりを作って地域を盛り上げていく係みたいなものです。

みなさんが住むこの向陽校区には、たくさんの組織や団体が存在します。例えば、向陽小学校の児童や紫原中学校・西紫原中学校の生徒と各学校PTA、広木町内会や中間町内会、向陽校区社会福祉協議会や田上・宇宿交番、田上消防分団や宇宿消防分団などです。また、向陽校区には、組織や団体に属していない方々もいらっしゃいます。これらの組織や団体は、それぞれでは機能していますが、他団体との接点が少なく、必要な情報が回らず欲しい協力が得られないときもでてきます。そんなときに役に立つのがまち協です。まち協の全体会がそれぞれの組織や団体間の連絡の場となり、風通しを良くしています。

「まち協と町内会は同じでしょ?」「向陽校区のトップの機関ですか?」と勘違いをされるときがありますが、どちらも正しくはありません。おそらく、まち協が行事を主催することがあるため、そう思われてしまうのかもしれませんが、まち協が主催する行事は校区全体に関係する行事であり、複数の組織・団体にまたがる参加者があると考えられる行事に限られています。いい機会でもありますので、まち協と各組織・団体との関係性とそれぞれの主管行事について図解化してみました。ぜひ下図をご確認ください。

さて、この度、向陽校区まちづくり協議会は5年ごとに計画を策定する2期目に入ります。私たち『まち協』は、みなさんが安全で生活しやすく、子育てから老後まで安心して暮らすことができ、そして、この向陽をふるさとと感じてもらえるような地域づくりを目標としています。これは役員だけでも、構成団体だけでもできるものではありません。この校区に居住されているみなさんの方向性が1つになることで実現すると考えています。住みたい街に選ばれる向陽校区を期待に応えられる街にしていきたいと思います。

【図解】まちづくり協議会と各構成組織(団体)との関係性と各組織の実施行事



I 「第Ⅰ期まちづくりプラン」の振り返り

1 第Ⅰ期の成果と課題

【成果】

- 協議会創設以来5年間広報紙を発行でき、まちづくりの根幹となる情報を校区のみなさんに届けることができた。また、情報の電子化を求める声や個人情報取扱いへの配慮から、イベントの参加申込にWEB申込を導入したり、情報発信用にLINEオープンチャットを開設したりと新しい取り組みを始めた。
- 新型コロナウイルス感染拡大の時期にあっても、できることを考えて実施し、校区の繋がりが切れないように努めてきた。
- コロナ禍で取り入れたオンラインによる事業（しめ縄作り、立志のつどい等）や協議会役員会等は、保護者世代の協力を得られたり、幅広い年代へのデジタル活用を促したりすることになった。
- 各事業において、二次元コードを使って感想をもらうことで、多くの意見をもらうことができた。

【課題】

- 情報が協議会の構成団体・組織を通してしか発信できていないため、校区民全体に行き渡っていない。今後、誰もが情報を取れるように、協議会のホームページを開設したいと考えているが、制作方法、運営費が課題である。
- 協議会・学校（PTAを含む）・地域が連携して実施する事業は、連携を密にとる手立てが必要である。
- 事業内容を充実させたり、周知を図ったりするために、オープンチャット等を積極的に活用する。
- 総会において、構成団体の委任状が半数近くある。構成団体の事業参画について工夫し、協議会への協力体制を構築する必要がある。

2 各部会事業等の反省・評価

※ 評価基準 A：よくできた B：概ねできた C：できなかった

番号	事業名	実施部会	評価	継続廃止	成果・改善・感想等 （継続理由、廃止理由、改善点等）
1	広報紙発行	まちづくり部会	A	継続	年2回発行。14号まで発行した。情報源としては回覧板が一番活用されているが、全世帯に情報が届くように電子版も考えていく。
2	夏まつり		A	継続	町内会主催の事業であるが、文化継承の観点から協議会として支援する。QRコードをその場に設置し、感想等を拾うようにする。
3	校区美化活動 （校区一斉清掃）		A	継続	町内会行事ではあるが、SDGsの学びにもなり、校区一斉に行うことで、学校・町内会・協議会を結びつけることができる。

番号	事業名	実施部会	評価	継続廃止	成果・改善・感想等 （継続理由、廃止理由、改善点等）
4	宇宿中間福祉館まつり	まちづくり部会	B	継続	認知度が低いので、子育てサロン等に日頃から出ることを勧め、参加しやすくする。
5	おはら祭り参加		B	継続	町内会で参加。練習は小学校で行っている。子供は、保護者同伴となっているが、子供だけでも参加できるようにしたい。
6	コミュニティ カレンダー発行		C	廃止	途中まで発行できたが、諸事情でできなくなった。
7	なかま子育てサロン	福祉・安全部会	A	継続	季節の行事や学びの場を、計画・実施し、子育て世代の活発なコミュニケーションの場となっており、好評である。
8	校区あいさつ運動		A	継続	構成団体がそれぞれにキャンペーン期間を設定し、活発に活動に参加している。児童の積極的なあいさつが増えた。
9	春の交通安全運動・ 見守り活動		A	継続	【春夏秋冬共通】 キャンペーン期間中は幟を活用し、周知を図っている。交通安全の啓発に努めると共に見守り活動も実施している。コロナ禍前の日常に戻ってきており、活動も少しずつ活発になってきた。
10	夏の交通安全運動・ 見守り活動		A	継続	
11	秋の地域安全運動・ 見守り活動		A	継続	
12	安心安全 ネットワーク会議		A	継続	各構成団体が集まり、地域の危険箇所の確認と情報や意見の交換を実施。共通認識・共通理解の向上のため協議内容の改善が必要。
13	年末年始地域 安全運動・防火運動		A	継続	火災予防週間などに、家庭訪問・計画範囲訪問ができた。参加者からは「参加できて良かった」との意見が寄せられた。
14	新1年生交通安全教室		B	継続	視聴による交通安全教室を実施。実技による交通安全指導教室はできなかったが、交通安全グッズを配布など、啓発運動ができた。
15	広木お達者クラブ		A	継続	レクリエーション等での介護予防や講師による学びの場を計画・実施するなど、活発に活動できた。

番号	事業名	実施 部会	評価	継続 廃止	成果・改善・感想等 (継続理由、廃止理由、改善点等)
16	中間お達者クラブ	福祉・安全部会	A	継続	レクリエーション等での介護予防や講師による学びの場を計画・実施した。今後は、男性の参加も促していく。
17	防災教室		B	継続	AEDの研修を含めた防災教室を実施。病院や介護施設の避難訓練・防災教室にも地域の代表が参加した。
18	高齢者見守り隊		B	継続	民生委員と消防が実施。福祉安全部会で情報や意見を交換し、実態把握。ひとり暮らし高齢者記念品配布による安否確認を行った。
19	校区球技大会 ※スポーツ大会に 名称を変更	社会教育・体育部会	A	継続	ソフトボール・ソフトバレーを行っていたが、種目をボッチャに変更し、スポーツ大会として、コロナ禍でも開催できた。
20	校区運動会		B	継続	コロナ前に1回開催した。今後は、秋の行事が集中しているため、日程調整を行い。人集めや種目など工夫して開催する。
21	スポーツ少年団 結団式・解団式		A	継続	コロナ禍でも実施できた。子供たちのために、今後も活動できるように努める。
22	市民体力テスト		C	廃止	コロナ禍で体力テストの実施はできなかった。今後は新たな事業の実施を検討する。
23	向陽フェスティバル		A	継続	まちづくり協議会、町内会、PTAが一体となって開催することができた。今後も工夫をこらして秋のイベントとして定着させたい。
24	鴨池地域文化祭参加			継続	展示発表等に協力して参加することができた。
25	社会学級・成人学級 ・女性学級		B	継続	コロナ禍においても、マスク着用の上で開催することができた。 今後は、人を集めることが課題である。
26	学校支援 ボランティアへの参加		A	継続	読み聞かせ、ミシン、習字、入学式、卒業式等の駐車場整理など、参加できる、協力できる人を中心に活動できた。

番号	事業名	実施 部会	評価	継続 廃止	成果・改善・感想等 (継続理由、廃止理由、改善点等)
27	各保存会による 子供たちへの指導	青少年育成部会	A	継続	運動会での郷土芸能披露のために、小学校の授業時間に指導を実施している。 今後も伝統を受け継いでいく。
28	校区あいご会理事会		A	継続	コロナ禍では、紙面開催を行った。役員間の連絡ツールとして、LINEグループを作り、各区の部長も参加し、情報の共有が図れた。
29	子ども会リーダー 研修会		A	継続	レクリエーションでの仲間づくりをとおりして、リーダー同士の仲が深まり、充実した研修になった。
30	夏休みラジオ体操会		A	継続	夏休みの初日と最終日の全体会に、小・中学生や地域の皆さんが小学校に集合し、夏休みに向けての生活リズムの調整を図った。 平日のラジオ体操会は、中学生や6年生がリーダーとしての役割を発揮できる機会となった。
31	十五夜		A	継続	区長や地域の役員が呼びかけで、多くの参加がある。コロナ禍では時期をずらし、趣旨を踏まえ、ハロウィンに変更して開催した。
32	妙円寺遠行		A	継続	1回だけコロナ感染拡大のため中止した。その後は人数制限を行い実施。体調把握がしやすく、交通安全管理も容易になった。
33	しめ縄作り		A	継続	コロナ禍でも「リモート開催」ができた。 わらの確保も下準備も地域に協力を頂き、地域のよさに触れる貴重な体験行事である。
34	もちつき		A	継続	コロナ禍でも、参加者を高学年に絞るなど工夫して開催した。地域や保護者が一体となって、子供の思い出作りに頑張っている。
35	立志のつどい		A	継続	中学校地区PTAを中心に計画し、子供たちの心に残る事業になっている。コロナ禍では、Zoomによる開催を行った。
36	青少年健全育成大会		A	継続	主に子育てに関する講話が中心だったが令和5年度から「向陽フェス」と同日開催とし、子供の作文発表を中心に切り替え実施。

③ 第1期の活動の記録



定期総会



校区スポーツ大会



校区スポーツ大会



夏休みラジオ体操会



夏祭り



十五夜



妙円寺遠行



おはら祭



向陽フェスティバル



しめ縄作り



もちつき



Ⅱ 「第2期まちづくりプラン」

1 計画の期間

令和7年度～令和11年度(2025年度～2029年度) <5か年間>

2 向陽校区まちづくりの目標

(1) まちづくりのスローガン

伝統を受け継ぎ みんなでつくるまち ふるさと向陽

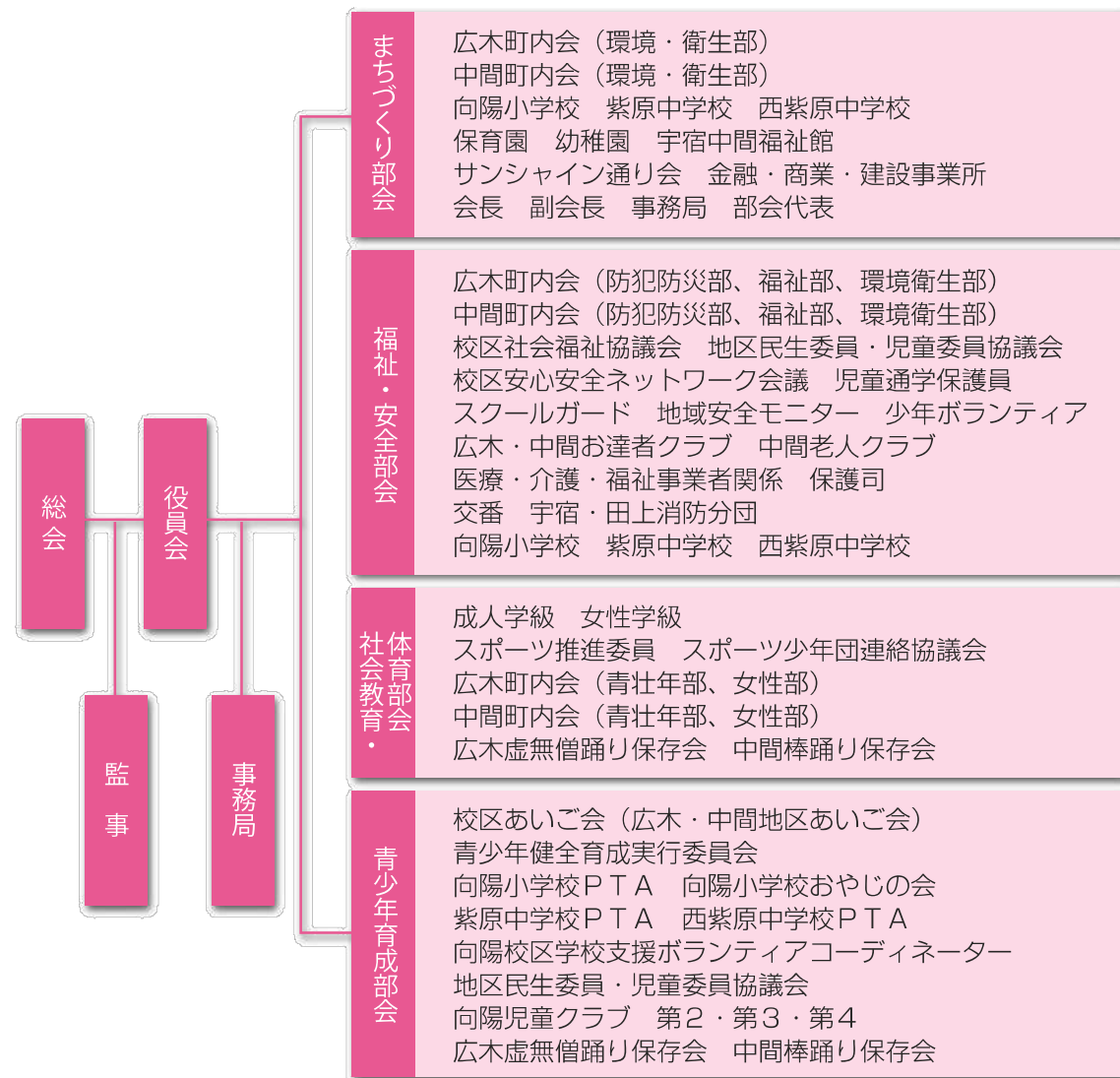
(2) 運営方針

ア 校区の課題や住民ニーズをしっかりと把握し、その解決を考えながら計画的に事業運営を進める。

イ 役員会や部会で、目的や効果の共通理解を図るとともに役割分担を行い、「計画・実行・評価・改善(PDCA)」のサイクルで取り組んでいく。

ウ 各構成団体の情報を共有し、事業の取組や課題等について、情報発信(広報)をする。

3 まちづくり協議会組織



Ⅲ 向陽校区まちづくりプラン(振興計画)

まちづくり部会

基本方針		○ 地域の伝統や文化の継承への取組や地域ぐるみの環境づくりを推進する。 ○ 協議会の活動状況や課題等を広報して、住民の理解と協力を得る。 ○ 校区の課題、住民のニーズを把握し、対応策を検討する。
活動内容	事業名	事業内容・事業効果
1 広報活動	広報紙発行	○ 年2回、広報紙「サンシャイン向陽」を発行し、行事や地域の情報を発信することによって、 情報共有を図るとともに、地域づくりの参画意識を高めることができる。
2 交流活動	夏祭り	○ それぞれの町内会が、住民が世代を超えて交流ができる場として開催することで、 青少年にふるさとのおよき思い出と郷土意識を培うとともに、地域の交流促進が期待できる。
3 美化活動	校区美化活動（校区一斉清掃）	○ 校区行事に合わせて、校区全体でごみ拾い等を実施することにより、 参加者のふれあいや連帯感が深まり、美しい環境（まち）づくりが図れる。
4 交流活動	宇宿中間福祉館まつり	○ 福祉館の利用者を交えて、世代を超えた交流をすることにより、 地域との繋がりを深めることができる。
5 郷土の文化伝承活動	おはら祭り参加	○ おはら祭りに、町内会単位で募集・準備・練習は行うが、校区として参加することによって、 子供たちが身近な大人とのふれあいを深めるとともに、ふるさとづくりが図れる。
6 情報収集	情報配信のデジタル活用の推進	○ 校区行事の開催連絡や参加申込、校区内のトピックスなど情報配信にデジタルを活用し、タイムラグの少ない配信と個人情報の安全管理を行うことで、 地域活動の周知と参加促進のきっかけ作りをする。
7	アンケート調査	○ まちづくり協議会の運営や事業等について、地域住民から感想や評価を収集することによって、 地域住民の声を生かした活動を展開することができる。



向陽校区まちづくり協議会 LINE オープンチャットのご案内

校区内で開催される行事について向陽校区まちづくり協議会のLINEオープンチャットで開催情報を配信しています。個人アカウントが誰かに分かることもありませんので安心してご活用ください。



向陽校区まちづくりプラン(振興計画)

福祉・安全部会			
基本方針		○ 校区住民が共に助け合い協力し、幼児から高齢者、障がいのある人を見守り、みんなが安心して住める温もりのあるまちづくりに努める。	
活動内容		事業名	事業内容・事業効果
8	子育て支援活動	なかま子育てサロン	○ 毎月第1水曜日に宇宿中間福祉館で、子育てに関する情報交換や相談を行う。子育て世代が世代を越え、子育ての悩みなどを共有することで、仲間づくりの輪を提供し、子育てしやすい地域となる。
9	交流活動	校区あいさつ運動	○ 4月・9月の地域交通安全運動期間と3学期始業式に児童生徒の登校時見守りの一環として実施する。校区内の絆を深め、基本的な生活習慣を身につけさせることができる。
10	交通安全活動見守り活動	春の交通安全運動・見守り活動	○ 春の全国交通安全運動に合わせ、児童生徒の登校時に、立哨指導を行い、新年度における児童生徒の交通安全確保とともに、校区民の交通安全意識を高めることができる。
11		夏の交通安全運動・見守り活動	○ 夏休みに入ってからすぐ、児童生徒の交通安全確保のための見守り活動を行うことによって、夏休みの児童生徒の交通安全上の課題を明らかにし、改善に向けての指導ができる。
12		秋の交通安全運動・見守り活動	○ 秋の全国交通安全運動に合わせ、児童生徒の登校時に、立哨指導を行うことによって、交通安全の意識を幼児から高齢者まで高めることができる。
13	安心安全なまちづくり活動	安心安全ネットワーク会議	○ 年3回、安心安全なまちづくりに関する課題や改善策を話し合い、安心安全なまちづくりについて、実態に基づいた安全対策を講じることができる。
14		年末年始地域安全運動・防火運動	○ 年末年始における防火・防災・防犯・交通事故防止のための活動を行うことによって、校区民が、安心安全に年末年始を過ごすことができる。
15		新1年交通安全教室	○ 新1年生を対象にした交通安全教室を、入学式前(2月)に行うことによって、新1年生に交通ルールの理解を深めさせることができる。
16	高齢者交流活動	広木お達者クラブ	○ 毎月2回(木曜日)、広木公民館において、研修・レクリエーション等を行うことで、学び続ける楽しさや語らう楽しさを味わうことができ、孤独化防止・介護予防が期待できる。
17		中間お達者クラブ	○ 毎月2回(金曜日)、宇宿中間福祉館において、研修・レクリエーション等を行うことで、学び続ける楽しさや語らう楽しさを味わうことができ、孤独化防止・介護予防が期待できる。
18	防犯・防災活動	防災教室	○ 町内会単位で、防災訓練や防火研修を行うことで、災害時の危機意識を高めるとともに、地域住民や地域で活動する人々が、一体となった迅速な避難行動が期待できる。
19		高齢者見守り	○ 高齢者に安心感を持たせ、孤独化を防止するために、高齢者見守りを実施し、高齢者や独居世帯を定期的に訪問し、相談体制をつくる。

向陽校区まちづくりプラン(振興計画)

社会教育・体育部会			
基本方針		○ 校区住民が協調と親睦の中に学び合い、また、スポーツをとおしてふれあい、みんなが見えるまちづくりのために、学びと健康、体力づくりの活動の支援をする。	
活動内容		事業名	事業内容・事業効果
20	健康づくり体力づくり交流活動	スポーツ大会	○ 春と秋にスポーツ大会を開催することによって、校区民相互の親睦と健康なまちづくりに資することができる。 種目については、ボッチャやグラウンドゴルフ、ソフトボール、運動会、eスポーツなど、様々なジャンルのスポーツを取り入れることにより、異世代間の交流ができる。
21	少年スポーツ支援活動	スポーツ少年団結団式・解団式	○ 子供たちが、スポーツ少年団活動をとおして、社会のルールや思いやりの心を学ぶことができるように、スポーツ少年団の結団式や解団式を、協議会の支援活動とする。
22	健康増進活動	校区体力テスト	○ 町内会やスポーツ推進員が中心となり、住民の健康増進活動を実施することによって、生活の中では気づきにくい体力について考えるきっかけとし、運動や体力づくりへ取り組む動機付けとする。
23	地域文化振興	向陽フェスティバル	○ 町内会・学校・PTA・関係団体などが一体となって向陽フェスティバルを開催することによって、舞台発表や模擬店などをとおして、文化の交流や親睦、社会経験などができ、明るく楽しいまちづくりができる。
24	地域公民館との連携活動	鴨池地域文化祭参加	○ 鴨池公民館主催の地域文化祭において、社会学級等で学習した成果を発表することをとおして、学習活動への意欲を高め、生きがいづくりに寄与するとともに、地域文化の向上を図ることができる。
25	学びをとおした生きがいづくり活動	社会学級・成人学級・女性学級	○ 年8回(成人学級)・年10回(女性学級)開催。各学級のニーズに応じた学習内容と交流の場を提供することにより、社会の変化に対応できる能力が向上するとともに、その成果を地域づくりに生かすことで、生きがいづくりに寄与できる。
26	ボランティア活動	学校支援ボランティアへの参加	○ 学校支援ボランティアへの参加を地域の各団体等へ呼びかけ、地域住民の長年の経験を学校教育に生かすことは、子供たちの育成と地域住民の生きがいづくりに繋がり、地域の活性化に寄与できる。
27	郷土芸能継承活動	各保存会による子供たちへの指導	○ 校区に伝わる広木虚無僧踊り、中間棒踊り2つの郷土芸能を、各保存会が、子供たちへ指導することをとおして、伝統芸能を継承するとともに、校区住民への郷土芸能の周知、異世代の交流による地域の絆の深化、郷土愛の醸成等が期待できる。



向陽校区まちづくりプラン(振興計画)

青少年育成部会			
基本方針		○ 連携を図りながら、青少年の「生きる力」を育む活動を目指す。	
活動内容	事業名	事業内容・事業効果	
28	健全育成活動	校区あいご理事会	○ 年5回あいご理事会を開催し、 子供たちの健全育成のために、地域・家庭の連携を図るとともに、あいご会活動とおし地域全体で子供を育てるという意識作りをする。
29		子ども会リーダー研修会	○ 子供のリーダーとしての資質を高めるために、リーダー研修会を開催し、挑戦する大切さやリーダーシップを学ぶことをとおして、 自主性のある子供を育てる。
30		夏休みラジオ体操会	○ 夏休みの間、地区ごとにラジオ体操を実施し、夏休みの初日と最終日は、向陽小で地域のみなさんと参加することによって、 子供たちが、規則正しい生活習慣を身に付けられるよう意識づけを図る。
31		立志のつどい	○ 地域主催の立志式を開催し、 中学2年生の子供たちに、立志の目的を理解してもらい、新たな動機づけの機会とする。
32		青少年健全育成大会	○ 向陽フェスと同日開催にして、多くの地域の方の前で、子ども・生徒の作文・研究発表をしてもらい、 子どもの成長を実感し、健全育成に携わる一員として自覚できる行事とする。
33	地域の行事に親しむ活動	十五夜	○ 地区の役員と一緒に、十五夜行事を行うことによって、 子供たちが、行事を楽しみ、地域の方とのふれあいの機会となり、ふるさと意識が育まれる。
34		妙円寺遠行	○ 10月に校区民・児童・先生方で、健康づくりの一環として、徳重神社まで歩くことをとおして、 気力・体力を養うとともに、あきらめなくて踏破する達成感を味わう機会とする。
35		しめ縄作り	○ 地域の方から、親子でしめ縄の作り方の指導受け、作り上げる。 しめ縄作りは、伝統行事のひとつであるが、家族の1年間の無事を祈る大切な行事であることを理解する機会となる。
36		もちつき	○ 子供たちが、地域住民と共にもちつき体験をすることで、 地域の一員として楽しめ、新年を迎える大切な行事と理解できる。



Ⅳ 資 料

1 校区のすがた

(1) 校区の歴史・概要

向陽校区は、鹿児島市の南部、脇田川の中流域に位置しています。

昭和58年4月、広木小学校と宇宿小学校より分離して、向陽小学校が開校して以来、40年近い歴史を歩んできました。恵まれた自然環境のもと、住民が一体となって、輝かしい伝統を築いてきました。特に、地域の伝統行事や伝統芸能等の伝承活動は、青少年や住民に、「ふるさと心」を深化させてきました。

小学校開校当初は、脇田川の両側に田園地帯が広がっていましたが、平成5年以降の区画整理事業等の実施、脇田川の改修、道路や住宅の整備等の結果、年々都市化が進み、人口や児童生徒数の増加、また、商業施設や医療施設も増え、校区の様子も大きく変貌してきました。

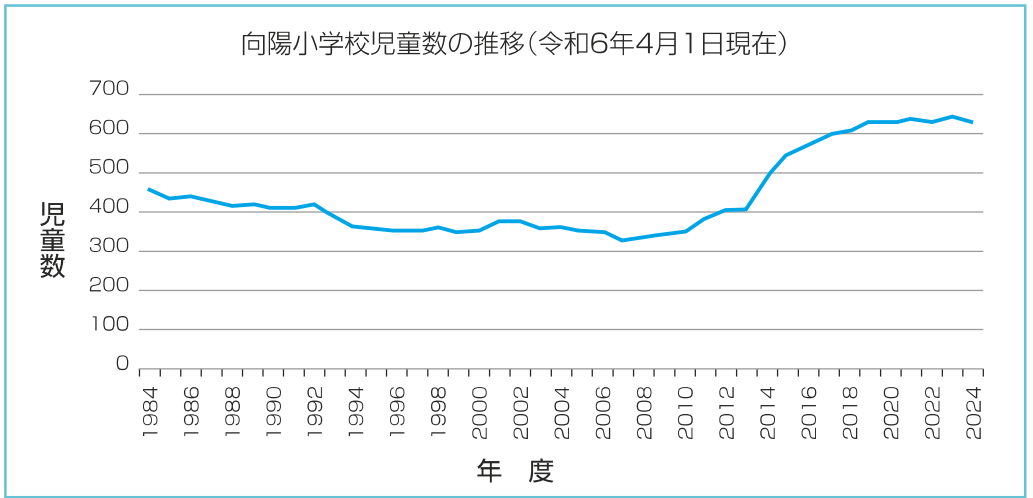
校区内には、広木町内会と中間町内会の2町内会があり、地域コミュニティの中心組織として一体となり、住民の親睦やふるさとづくり、青少年健全育成活動等、「住みよいまちづくり」に積極的に参加し、活発な活動を行っています。

(2) 校区の人口の推移

ア 帯数・男女別人口推移(国勢調査より)

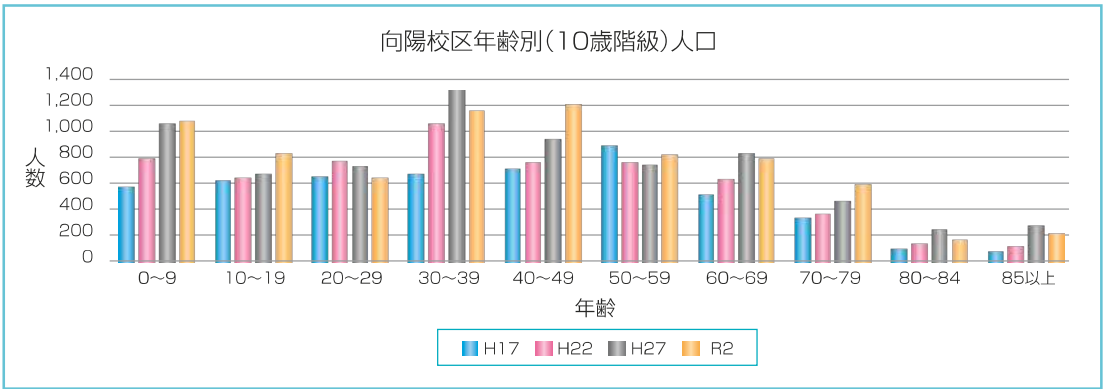
年 度	世帯数	人 口		
		総 数	男	女
平成17年	1,845	5,127	2,494	2,633
平成22年	2,281	6,014	2,915	3,099
平成27年	2,830	7,232	3,539	3,693
令和 2年	3,109	7,935	3,830	4,105

イ 向陽小学校児童数の推移



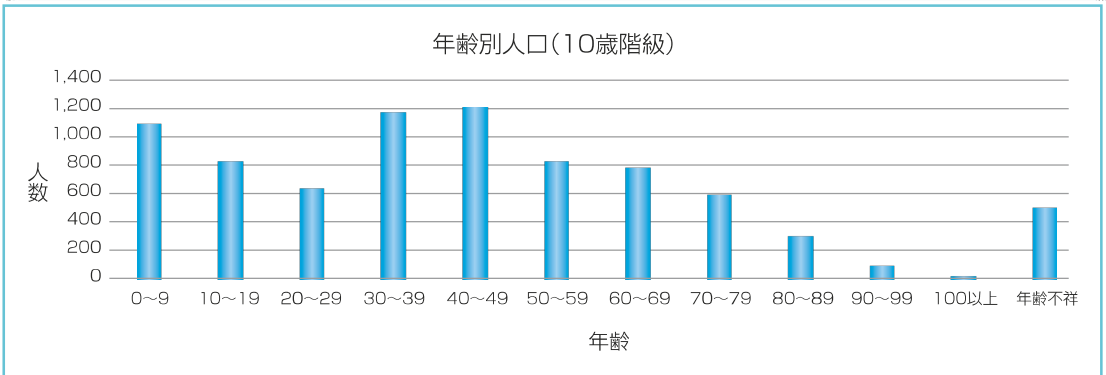
ウ 小学校区 年齢(10歳階級)人口(平成17・22・27、令和2年度国勢調査) ※各年度10月1日現在

年 齢	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～84	85以上
H17	565	621	636	678	714	886	514	337	91	77
H22	784	642	768	1051	762	752	629	359	132	116
H27	1049	664	735	1312	934	738	825	458	248	269
R2	1079	823	635	1159	1190	811	781	581	167	219

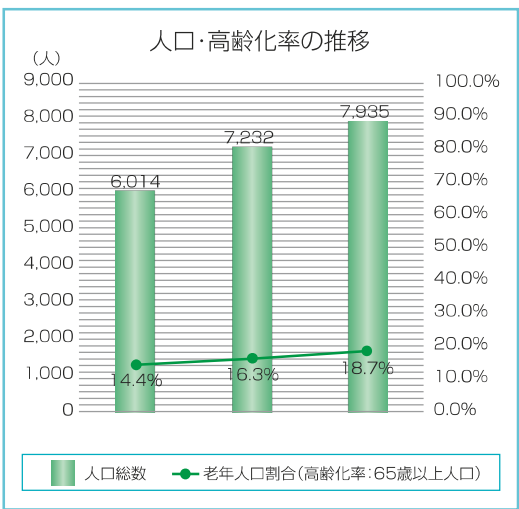


エ 向陽校区年齢別人口(国勢調査より) 令和2年10月1日調べ

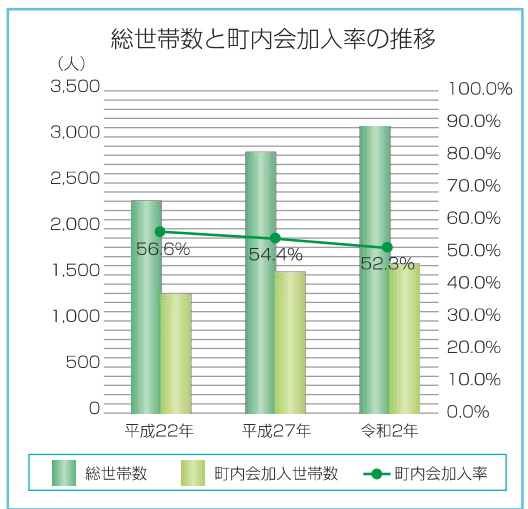
年 齢	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～99	100以上	年齢不詳
人 数	1079	823	635	1159	1190	811	781	581	289	94	3	490



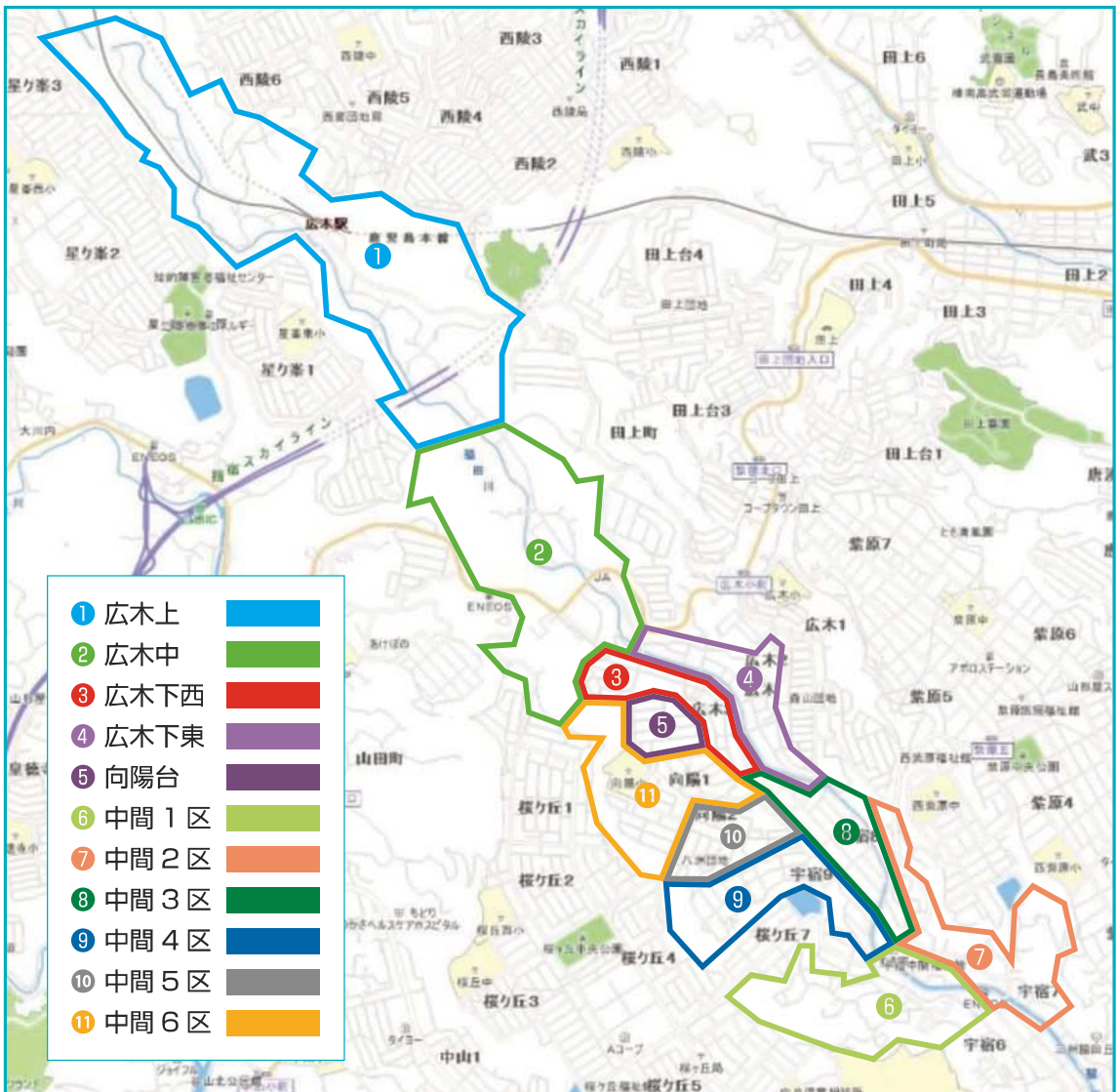
オ 人口・高齢化率の推移



カ 総世帯数と町内会加入率の推移



2 向陽校区



3 第2期まちづくりプラン策定委員

- 策定委員長 森田 聡 (まちづくり部会長)
- 策定委員 森田 眞一(まちづくり協議会長) 久保 健晃(まちづくり協議会副会長)
- 新川 廣志(福祉・安全部会長) 久保 和明(福祉・安全部副会長)
- 川上 史人(社会教育・体育部会長) 桑原 良子(社会教育・体育部副会長)
- 後藤 雄一(青少年育成部会長) 石神由紀子(青少年育成部副会長)
- 新留真奈美(まちづくり部会副会長)
- 中野恵津子(まちづくり協議会会計)
- 丸山 直子(まちづくり協議会書記)
- 川越 佳恵(まちづくり協議会事務局職員)

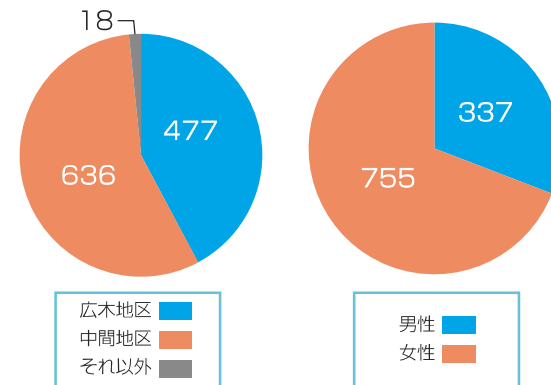
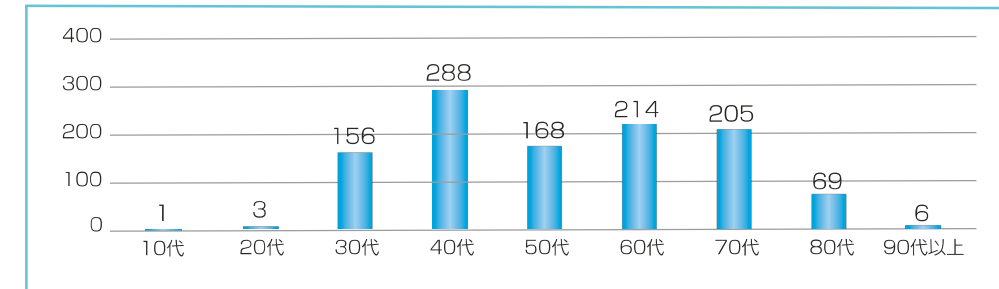
4 第1期活動評価アンケート

第2期プランの策定にあたり2024年3月に向陽校区にお住まいのみなさまに第1期活動についてアンケートを実施いたしました。その結果を報告いたします。

【アンケート実施概要】

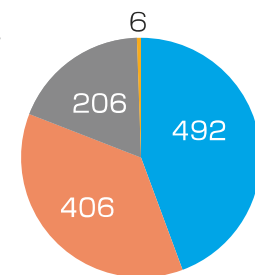
アンケート集計数	名1131
回答者の居住地	広木地区 477 中間地区 636 それ以外 18
回答者の性別	男性 377 女性 55

回答者の年齢層

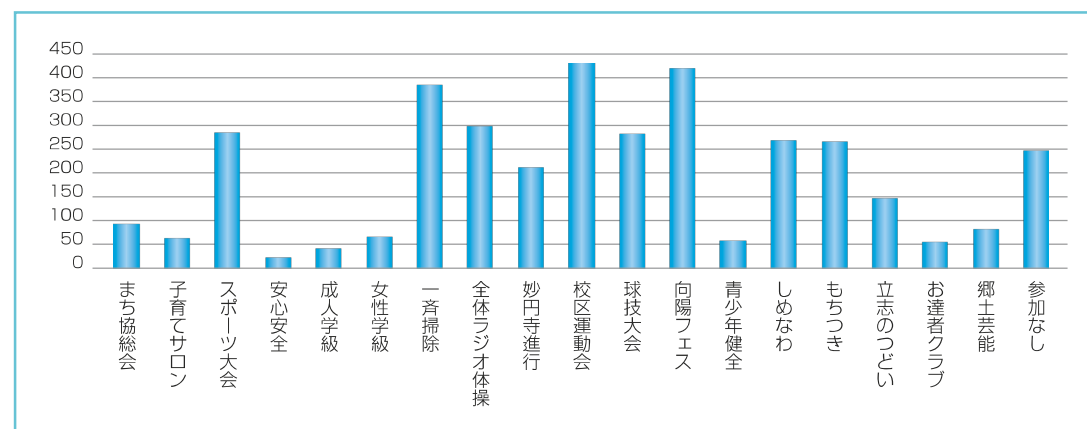


【問1】あなたは「向陽校区まちづくり協議会」をご存じですか。

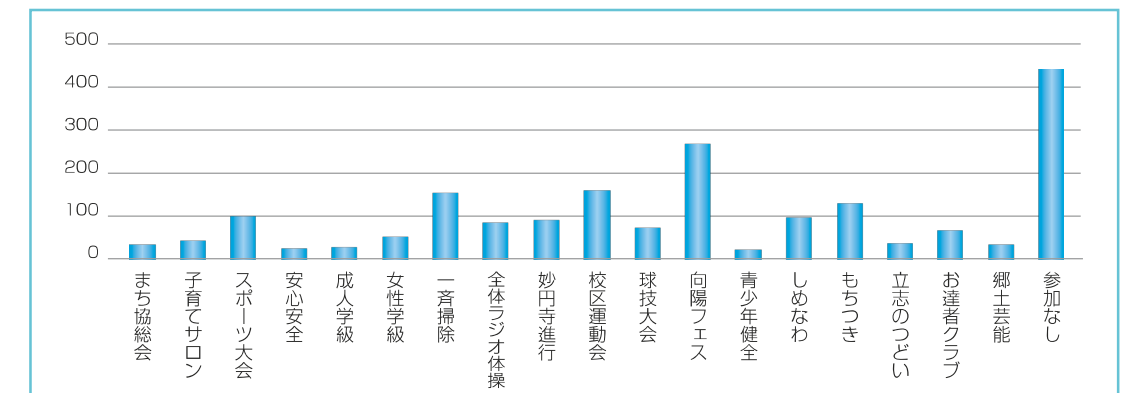
知っている	492
知っているが、何をしているか分からない	406
知らない	206
その他	6



【問2】あなたは向陽校区で行われている活動に参加したこと(行ったこと)がありますか。

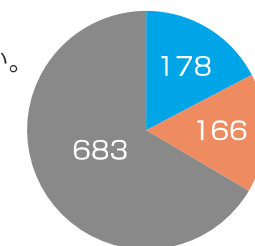


【問3】今後も参加したい、もしくは参加してみたいと思う活動はどれですか。



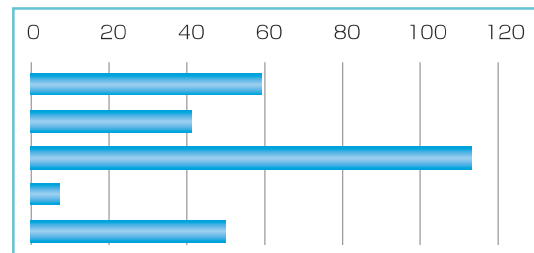
【問4】「まちづくり協議会」ができてから、向陽校区に何か変化があったと思いますか。

変化した	178
あまり変わっていない	166
わからない	683



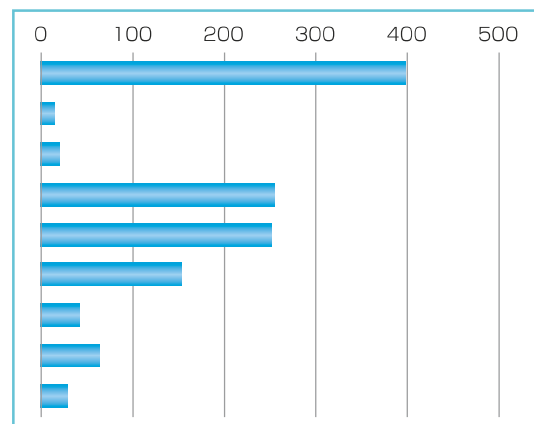
【問5】変化したと感じるものは具体的にどんなところでしょうか。

校区に活気が出てきた	59
活動の内容が充実してきた	41
活動の様子が見えるようになった	113
活動への参加者が増えた	7
ITが活用されるようになった	50



【問6】あなたは「まちづくり協議会」の活動情報をどのように得ていますか。

まちづくり協議会の広報紙	397
まちづくり協議会のFacebook	14
LINEオープンチャット	19
各町内会や所属組織の連絡網	254
各町内会の掲示板	252
各町内会の回覧板	153
各町内会や協議会の役員	41
家族や知人	62
その他	28



【問7】あなたは「まちづくり協議会」の活動に協力したいと思いますか。

できることがあれば活動に協力したい	395
活動に協力したいが、今はできない	382
活動には協力できない	225

